

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して ↑ 増加 ↓ 減少 → 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 1	1	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 32	34	ヘルパンギーナ	↑ 27	25
咽頭結膜熱	↑ 11	8	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↑ 62	60
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↓ 26	44	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 167	171	流行性角結膜炎 (はやり目)	↓ 6	10
水痘	↑ 33	28	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 46	94	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	→ 5	5	マイコプラズマ肺炎	↑ 6	4
突発性発しん	↓ 43	44	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い
感染症

- 感染性胃腸炎
- 流行性耳下腺炎
- 手足口病

- 感染性胃腸炎は、報告数 167 件(前週報告数 171 件)と減少。地区別では、人吉、菊池、有明に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の23件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎は、報告数 62 件(前週報告数 60 件)とわずかに増加。地区別では、水俣、菊池、人吉に多く報告がみられる。年齢別では、3歳の16件を最多に、主に10～14歳以下からの報告である。
- 手足口病は、報告数 46 件(前週報告数 94 件)と減少。地区別では、水俣、八代、天草に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の16件を最多に、主に9歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	0	8	3	10	39	12	8	0	19	0	8	19		5				2
山鹿保健所	1	0	0	0	8	0	3	0	3	0	0	1	*	*				
菊池保健所	0	13	1	0	22	8	5	3	7	0	5	13						
阿蘇保健所	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	1	*	*				1
御船保健所	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	0	2	1	1	5	3	9	0	0	0	1	1						
水俣保健所	0	0	0	0	0	0	7	0	2	0	0	8	*	*				
人吉保健所	0	0	0	5	43	4	0	0	2	0	1	8	*	*				1
有明保健所	0	3	6	2	24	4	3	0	3	0	0	8		1				2
宇城保健所	0	1	0	2	13	1	3	0	5	0	0	3						
天草保健所	0	5	0	6	7	1	7	1	2	0	12	0						
計	1	32	11	26	167	33	46	5	43	0	27	62	0	6	0	0	6	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
インフルエンザ	1															1					
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	32	7	6	15	3		1														
咽頭結膜熱	11			1	1	4	2	1		1											1
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	26			4		3	4	1	2	2	1	2	5	2							
感染性胃腸炎	167	3	10	23	13	21	14	12	10	13	9	7	17	4	11						
水痘	33	1	1	7	5	10		4	1	2	1		1								
手足口病	46		1	16	9	8	5	3	2			1			1						
伝染性紅斑	5					1		2	1			1									
突発性発しん	43		14	27	2																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	27		6	8	3	3	1	2				1	3								
流行性耳下腺炎	62			8	10	16	12	8	2	1	2		2	1							
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	6														2	1			2	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	6			4	1	1															
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 手足口病：八代・水俣
- ヘルパンギーナ：天草

インフルエンザ

前週に御船地域から今シーズン初めてインフルエンザの報告がありました。今週は山鹿地域から1件報告です。前週には、全国の6割以上の県で患者が報告されています。九州内では、特に沖縄県で多くの報告があります。インフルエンザは突然の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などがみられ、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続きます。いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴です。本格的な流行シーズンを前に、予防と感染拡大防止のため、次のことに努めましょう。

- 咳エチケットを守りましょう。
- 帰宅時には手洗い・うがいをしましょう。
- 栄養、休養、睡眠を適切に取り体力を保持しましょう。
- 部屋の換気を心がけましょう。